



慶應義塾大学出版会 新刊案内

2020

5月

〒108-8346 東京都港区三田 2-19-30

Tel: 03-3451-6926 / Fax: 03-3451-3124

<http://www.keio-up.co.jp/>



平積印のついている本には特にご注目下さい。平積みいただければ幸いです。



アカデミック・スキルズ

プレゼンテーション入門



学生のためのプレゼン上達術

大出敦（慶應義塾大学法学部教授）・直江健介（イッセイ株式会社取締役）[著]

🔍ココに注目！

- ・「アカスキ」シリーズに、プレゼンテーション入門が満を持して登場！
- ・ビジネスではない、「アカデミック」なプレゼンの技術を伝授！
- ・「聴衆」、「資料」、「話し手」の3つの視点から初心者向けに解説。

ビジネスシーンではなく、大学現場でのプレゼンテーションについての入門書。大学生がプレゼンをより効果的に行う技術を、「聴衆」「資料」「話し手」という3つの視点から、初心者にも分かりやすく解説。

本体予価 **1,400 円** A5 判並製 / 160 頁

ISBN 978-4-7664-2573-4 C0037

対象：大学生

部数：★★★★★

配本予定：5月上旬

【営業部からのおすすめポイント】

学生向けのプレゼン入門書がとうとうアカスキシリーズに登場します！「資料」や「話し手」に加えて、「聴衆」視点がポイントになっているのは、聴き手への学習効果も意識したアカスキらしい特徴です！ぜひアカスキシリーズ既刊ともどもよろしくお願います！

(乙子)



なぜ中間層は没落したのか



アメリカ二重経済のジレンマ

ピーター・テミン (マサチューセッツ工科大学名誉教授) [著] /

栗林寛幸 (一橋大学経済研究所研究員) [訳] / 猪木武徳 (大阪大学名誉教授) [解説]

🔍 ココに注目!

- ・アメリカが分断に陥った原因を明快なモデルで説明する。
- ・富裕層と貧困層の固定化を進める政治・経済・社会の要因を総ざらいする。

トランプ大統領が誕生し、アメリカ国内の分裂を煽った背景には根深い対立の歴史が存在した。人種・ジェンダー・移民差別のみならず、富める部門がその他の階層が豊かになる機会を妨害している。そうした「二重経済」に苦しむ現状を、経済史の泰斗が正面から批判する。

本体予価 **2,700 円** 四六判上製 / 356 頁

ISBN 978-4-7664-2674-8 C3033

対象: 一般 (先進国における格差・分断問題に興味のある層)

部数: ★★★★★★

配本予定: 5 月上旬

📖 関連書 ジョセフ・E・スティグリッツ

『スティグリッツ PROGRESSIVE CAPITALISM』(東洋経済新報社)

【営業部からのおすすめポイント】

前号の新刊案内では、『分断のアメリカ 二重経済のジレンマ (仮)』のタイトルにてご案内していましたが、昨今主にアメリカやイギリスを対象に格差や分断をテーマとした書籍が数多く出版される中で、本書の特徴・論点をしっかりとアピールするため、タイトルを原書に近づけて『なぜ中間層は没落したのか』に変更しました。より論点が明確となったタイトルで、ぜひ積極的な展開をご検討ください! (乙子)

【主要目次】

第 1 章 二重経済とは何か

第 2 章 FTE 部門

第 3 章 低賃金部門

第 4 章 階層間の移行

第 5 章 人種とジェンダー

第 6 章 政治における投資理論

第 7 章 超富裕層の生態

第 8 章 政府の概念

第 9 章 大量投獄

第 10 章 公教育

第 11 章 アメリカの都市

第 12 章 個人と国家の負債

第 13 章 アメリカと各国の比較

第 14 章 5つの提言

エピローグ トランプ大統領の登場



市民の義務としての〈反乱〉

イギリス政治思想史におけるシティズンシップ論の系譜

梅澤佑介 (慶應義塾大学大学院法学研究科助教) [著]

🔍 ココに注目!

- ・イギリス政治思想史の大問題である市民論・国家論を大スケールで論じる。
- ・国家に「抵抗・反抗」する義務とは何か、について4人の思想家を軸に論じる。

グリーン、ボザンケ、ホプハウスといった日本ではあまりなじみのない思想家の国家論における「市民の義務」としての「抵抗・反抗」の概念の生成を、20世紀前半最大の政治思想家ハロルド・ラスキの議論につなげ、彼の政治学の可能性に新たな光を当てた意欲作。

本体予価 **3,200円** 四六判上製 / 344頁

ISBN 978-4-7664-2682-3 C3031

対象：(政治思想史を専攻する)研究者、学生

部数：★★★★

配本予定：5月下旬

📖 類書 大井赤亥『ハロルド・ラスキの政治学』(東京大学出版会)



入門講義 安全保障論

宮岡勲 (慶應義塾大学法学部教授) [著]

🔍 ココに注目!

- ・日本の安全保障の事例にふれながら、主要な理論をやさしく解説。
- ・初中級者対象の、コンパクトにまとまった概説書。
- ・宇宙・サイバー空間など、新しい安全保障の課題もとり上げる。

中国の台頭、日米関係の変化など、近年日本をとりまく国際情勢は大きく変化している。本書は、日本の安全保障の事例を数多くとり上げながら、安全保障論の基本的な理論をコンパクトに説明。また宇宙・サイバー空間といった最新の課題もとり上げながら、初中級者に現代の安全保障問題をやさしく解説する。

本体予価 **2,500円** A5判並製 / 256頁

ISBN 978-4-7664-2679-3 C3031

対象：(政治学、安全保障論に関心がある)学生

部数：★★★★★

配本予定：5月中旬

📖 類書 防衛大学校安全保障学研究会 編著

『新訂第5版 安全保障学入門』(亜紀書房)

…コンパクトで初学者向けの当社新刊と比べると、より専門家向けの内容。

今月の別刷り注文書のご案内



下記の書目については、それぞれ同封の別紙（A4判色紙）にて詳細をご案内いたしますので、書籍内容はそちらで御確認いただければ幸いです。なお、注文用紙（短冊一覧）と別紙の双方に注文欄がございますが、どちらに記入していただいても構いません。

注文数が重複した場合には「多い方の発注数」にて対応させていただきます。



時代の「見えない危機」を読む



一迷走する市場の着地点はどこか

黒瀬浩一 著

本体予価 **2,700 円** 四六判仮上製 / 576 頁 ISBN 978-4-7664-2677-9 C0033